

1→10

『桃太郎電鉄 教育版』の開発で 「学びの体験」をアップデート

ワントゥーテンの技術力で
ブラウザ教育ゲームとして、最大限のパフォーマンス



株式会社ワントゥーテン（本社:京都府京都市、代表:澤邊芳明）は、株式会社コナミデジタルエンタテインメントが「桃太郎電鉄」を教材として提供する、ブラウザ版『桃太郎電鉄 教育版 Lite ～日本っておもしろい!～（以下、桃太郎電鉄 教育版）』の開発を担当いたしました。

『桃太郎電鉄 教育版』は、学校教育機関が導入できるよう、授業での活用を想定してカリキュラムにあわせた各種機能を追加し、WEBブラウザやタブレット等での操作を可能としたデジタル教材です。

「日本全国を巡って物件を買い集め、資産額日本一を目指す」というゲーム性を活かし、授業を通して地理や経済などを学ぶ教材として、楽しみながら学ぶことができます。

昨年秋の発表後大きな反響を受け、2023年より学校教育機関への無償提供がスタートしています。

ワントゥーテンは、『桃太郎電鉄 教育版』の実現に向けて多くの議論を重ねながら、フロントエンド及びバックエンド開発、UIデザインを担当いたしました。

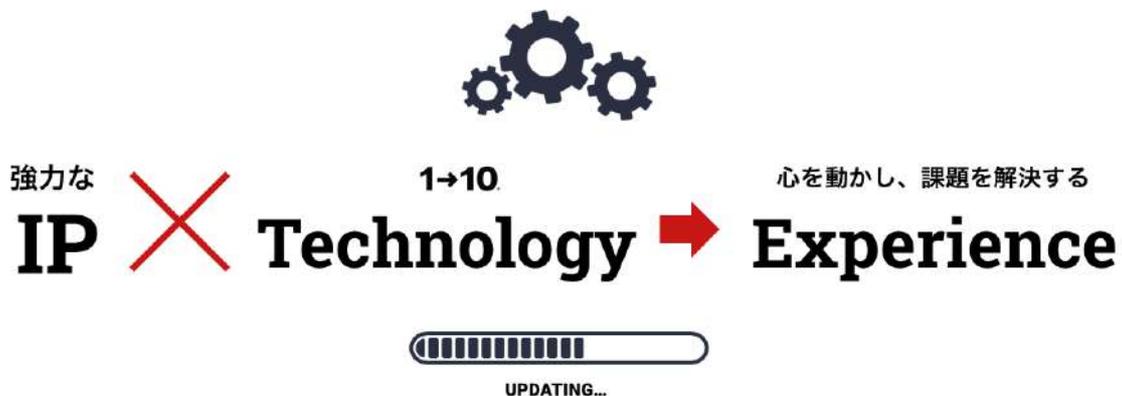
エデュケーション分野において、「遊び」の中に「学び」を与えるインタラクティブコンテンツの開発だけでなく、WEBブラウザやタブレットでも体験できる幅広いテクノロジーで、「学び」をアップデートさせる体験を作り出します。



▼ワントゥーテンにおける開発の背景

1988年からおよそ35年にわたって幅広い世代に楽しまれている国民的ボードゲーム「桃太郎電鉄」シリーズ。

国民的認知度を誇る強力なIPと、ワントゥーテンの技術力をかけ合わせ、授業に活用できるブラウザ教育ゲームとして最大限のパフォーマンスを実現させました。



教育現場で幅広く導入しやすいことを考え、アプリではなくブラウザに対応させるべく最適化。

教育版ならではの仕様変更など、大規模な開発が必要な中、外部パートナーを巻き込んだワンチームでのテクニカルリード体制を実施。Git issue や Project 管理でのタスク管理や、whimsical を使った仕様の認識合わせを行いつつ、目指すべき体験へと昇華させていきました。

▼ブラウザ版実現に向けて

①主な体験ポイント

1. 授業にあわせて、対象地域やプレー時間を設定できる
2. 楽しみながら学べる、地理情報表示機能の実現
3. 教育現場での活用を想定したゲームバランスの再調整

②体験実現に向けた開発ポイント

1. GIGA スクール構想対象端末で、ゲーム全機能を動作させるテクニカル設計の実施
2. 低スペックマシンでも動作するように、パフォーマンスの最適化
3. 対象端末合わせてキーボード、タッチパッドでの UI、3D ビジュアルのマップ操作





『桃太郎電鉄 教育版 Lite ~日本っておもしろい!~』 概要

対応プラットフォーム：Windows PC, Chromebook, iPad

対応インターフェース：キーボード、タッチパネル

プレー人数：1~4人

オンラインプレー：非対応

公式サイト：<https://www.konami.com/games/momotetsu/education/>

(※導入のお申し込みやお問合せは、こちらよりお願いいたします)

クレジット：©さくまあきら ©Konami Digital Entertainment

「桃太郎電鉄」シリーズとは

1988年にファミリーコンピュータ向けに第1作目が登場して以来、およそ35年にわたって幅広い年代の方々に楽しまれている国民的ボードゲームです。プレイヤーは鉄道会社の社長となり、日本全国を巡って物件を買い集め、最初に決めた年数が終わった時に一番資産を持っているプレイヤーが勝利となります。2020年に発売された『桃太郎電鉄 ~昭和 平成 令和も定番!~』（Nintendo Switch™用ソフト）は、最大4人でのオンラインプレーが可能で、1人でも家族でも、おうち時間を楽しく過ごせるゲームとして、累計販売本数350万本（2022年3月22日時点）を超えるヒット作となっています。また、2023年には、シリーズ初の球体マップで再現された地球を舞台にプレーできる最新作『桃太郎電鉄ワールド ~地球は希望でまわってる!~』が発売予定です。

※Nintendo Switch、ファミリーコンピュータは、任天堂株式会社の登録商標または商標です。

株式会社ワントゥーテン/1→10,Inc. について

人間の永遠の課題ともいえる『退屈』に挑み、人々の好奇心を掻き立て『没頭』を生み出すことをミッションとしている。先端テクノロジーによる社会課題解決をテーマに、最先端のAI技術を駆使したサービ

ス開発や、プロジェクションマッピング・XRを活用した数々のプロジェクトを日本国内及び世界各国で展開する。

ドバイ万博日本館のデジタルシフト施策の企画製作、大阪・関西万博デザインシステム、旧芝離宮恩賜庭園や二条城、名古屋城でのライトアップイベント「YAKAI by 1→10」の企画・総合演出、また、継続支援型ファンコミュニティ「ENU」、デジタルツイン空間でのメタバース「QURIOS」など先進的なプロジェクト多数。

URL : <https://www.1-10.com/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ワントゥーテン 広報 担当：五明／ E-Mail：pr@1-10.com TEL：03-5781-3600